



いなべに住むに



三重県  
いなべ市





P2～3 はじめに

P4～9 インタビュー  
いなべ暮らしの先パイたち

- ・池田さん夫婦
- ・寺園さん一家
- ・阿部さん一家

P10～15 いなべで子育てしよに

P16～17 いなべに移住するには

P18～19 いなべ市の主なデータ





# いなべに住むに

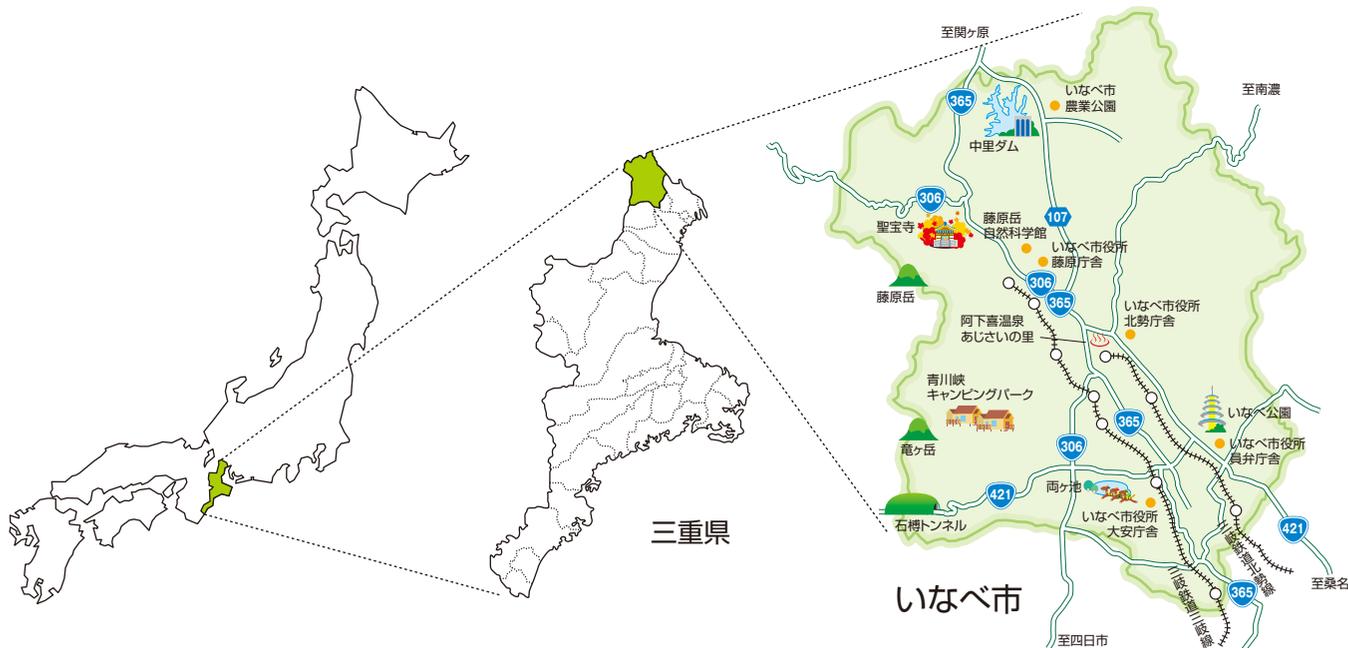
## いなべ市は子育てを応援します

三重県の北の玄関口に位置する「いなべ市」は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈が走り、中央を流れる員弁川を挟んで田園地帯が広がる緑豊かなまちです。山々が生み出す清流は、豊かな土壌を育み、良質米やお茶の産地として知られています。

何よりも魅力的なのは元気な市民。まちの資源を見直し、新しい価値を生み出そうとする人が増えてきました。イベントが生まれ、商売に挑戦する人も出てきています。市も「グリーンクリエイティブいなべ<sup>\*</sup>」を理念としたまちづくりを始めました。

全国住みよさランキングでも県内2位に位置するいなべ市。あなたも素晴らしい環境のもと、いなべ市で充実した人生を送りませんか。

<sup>\*</sup>グリーンクリエイティブいなべ…いなべの資源を都会的に磨き上げ人々を魅了するプロジェクト





## ◆子育て

全国住みよさランキング県内2位に選ばれる理由にあるように、いなべ市の子育て支援の取り組みは数多くのメディアや様々な団体より評価をいただいています。自然環境の良さに加え、きめ細かいフォローと手厚い行政体制が住民からの満足と安心をいただいています。

## ◆自然

花の百名山「藤原岳」、伊勢湾までの眺望が素晴らしい「竜ヶ岳」、滝巡りの「宇賀溪」、清流きらめく「青川峡キャンプパーク」などがアウトドアファンに人気です。近年では豊富な自然や快適な道路環境が評価されて国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」も開催されて多くのサイクリストが訪れます。

## ◆アクセスの良さ

いなべ市の道路環境は太平洋側と日本海側をつなぐように、南北に通じる国道306号・365号に加え、2011年に石榑トンネル(国道421号)が開通したことで、滋賀県側か



らの往来も増え、新たな人の流れが生まれました。現在、東海環状自動車道の工事も進められており、更なる飛躍が期待されています。名古屋圏へは車で1時間、関西圏へは車で2時間と日本の中央だから可能な立地と交通アクセスの発達でとても利便性の高いエリアです。

公共交通機関は三岐鉄道「三岐線」と「北勢線」の2路線が運行し、市内を12路線の福祉バスが運行しています。



# 池田さん夫婦

2013年 愛知県名古屋市より移住

池田 <sup>まなぶ</sup>学さん <sup>みお</sup>さん <sup>つき</sup>愛犬 月くん

## 古民家に住みたい

池田さん夫婦は、自分たちで手を加えて田舎暮らしができる中古物件を求めて、愛知・岐阜・三重で1年ほど探しているときに、偶然、知人の実家の空き家を紹介され、いなべ市を訪れました。

いなべ市は、仕事で関西方面や名古屋へ行く事の多い彫刻家の奥さんにとって交通アクセスが良く、趣きのある古民家とそこから見える手つかずの里山の自然がお二人の探していたイメージにぴったりで、いなべ市に移住する事を決めました。



## 農村民家を自分たちの住みたい空間に

以前住んでいた家の持ち主の家具がたくさん残っていたので、それらを再利用してリビングとキッチンを自分たちの手でリフォームしました。

床の間を利用して愛犬のベッドスペースを作ったり、家材を再利用して和室をリビングに作りかえたりしました。

里山の自然に囲まれた中で、自分たちの手で作った空間で過ごす毎日は、とても楽しく充実しています。



みおさん



学さん

名古屋に住んでいた時よりも人と接する事が増えました。特に移住者同士では世代も近く仲のよいお付き合いをさせてもらっています。月1回料理を持ち寄って家族ぐるみで情報交換したり、お店や作家が多いのでお互いの店やアトリエを訪ねたり、移住希望者を募っていないベツア-を企画したりもしています。近所の方も遊びに来てくれたりと友好的で楽しい暮らしをおくっています。地元の自治会のイベントにも積極的に参加し、準会員として加盟しています。



### 自分たちで作ったキッチン

天板に愛犬 月くんをモチーフにしたタイル貼りがしてあり、可愛い。



### 工房

彫刻家の奥さんの作業場。ひと彫りひと彫り命を吹き込んでいく。



### アトリエ

屋根裏のアトリエ。イラストを描いたり、作品や道具を展示している。



寺園さん一家

2013年 愛知県名古屋市より移住

八風農園 寺園 ふうさん 紗也さん 山くん



いなべでの出会いが移住の決め手

名古屋で農業を営んでいた寺園さんは、今後の取り組み方について悩んでいました。そんなとき地図をみていると、自分の名前と同じ漢字が使われている「八風街道」が目にとまり、いなべに興味を持ちました。

あるとき、友人を訪ねていなべを訪れる機会があり、偶然その場に居合わせた有機農家の森さんと出会いました。森さんと農業について話しているうちに、森さんの農業への取り組み方や、森さんの住んでいる藤原の風景に魅了され、すっかり意気投合しました。

その後、森さんの勧めで、住居や農機具などを無償で提供してもらえることにもなり、いなべで本格的に農業をはじめることになりました。

## 自然いっぱいのいなべは、僕たちにぴったりでした

いなべは山と川のロケーションが最高で、ここで農業ができるのは最高の幸せです。今は5ヘクタールの畑に年間70種類ほどの野菜を栽培していて、収穫した野菜は名古屋などの朝市に出しています。奥さんがライ麦パンの店を経営していることもあって、ライ麦も栽培しています。

最近では地元の祭りやイベントにも参加させてもらっていて、地元の人との交流もあります。

いなべに移住して来た人との意見交換も活発で、いい刺激をもらっています。



風さん



紗也さん  
山くん

週末は名古屋の実家でパン屋を経営しています。いなべは、子どもの頃に過ごした母親の実家とよく似た環境で、緑あふれる自然に心が落ち着きます。近くにスーパーやコンビニなども揃っていて便利で助かっています。

週末には名古屋で経営するドイツパンの店へ1時間ほどかけて、いなべから通っています。

今は野草にはまっていて、いなべの自然のなか野草を採って友人と料理を囲んで楽しんでいます。



### 朝市

自然農法の野菜は素材が元々持っている味や食感が出ておいしいと評判です。



### ライ麦畑

奥さんの経営しているドイツパンに合った品種のライ麦を栽培しています。



### ひつじ牧場

自宅の牧場では羊を飼育しています。ゆくゆくは羊のミルクでチーズを作って販売する予定です。



# 阿部さん一家

2011年 福島県より移住

阿部 よしのり 義徳さん 麻以 まいさん 義海 よしみくん



義海くん

## いなべの人の温かさに感謝

阿部さんは福島県からの移住者で、東日本大震災の際に職を失い家族のために安定した仕事を探していました。そんな時、全国版の求人に掲載されていた自動車メーカーの仕事に目が留まりました。地震の影響の少ない場所ではあるものの、家族を福島に残していくことが不安でした。悩んだ末に、知り合いのいないいなべでの仕事を選び、単身でアパートに住みながら慣れない仕事に必死で働きました。不安を抱えながら始めたいなべでの生活でしたが、皆さんの温かさに触れるうちにすっかり親しくなりました。家族を残して働きに来ていることなどを相談すると、家族と住めるよう知り合いの空き家を紹介してもらえることになり、家族揃ってのいなべでの生活が始まりました。

## 居心地のいい、心静かないなべの暮らし

僕は昔、全国高校サッカー選手権に出場した経験もあってサッカーが好きなんです。よく家族でグラウンドに来てはボールを蹴っています。息子とサッカーをしている時間が一番楽しいですね。いつかは藤原町でサッカーチームを作ってサッカーを通して恩返しができるかなと思っています。

妻は東京で暮らしていたので、運転免許を持っていなかったんですが、いなべに移住する時に免許を取りました。東京では電車やバスを移動手段にしていたので、いなべでの移動手段に不安も感じていたんですが、今では車を使って快適に生活しています。静かないなべの暮らしに東京で暮らしていたときよりも居心地よく感じています。



義徳さん

麻以さんがいなべ市に移住してきて驚いたのが、息子の義海くんを保育園に通わせていなかった時に、子育て支援センターの方が尋ねて来てくれたことだったそうです。子育てで困っている事はないかと声を掛けてくれたのがとても心強かったそうです。学校は1クラス15人と少人数のため、授業では分かるまで教えてくれるので勉強もスポーツも楽しく学校生活を送っています。子どもの成長と共に手狭になってきた住まいを新たに考えているそうですが、学区を変えたくないと思っているそうです。



### 藤原文化センター

義海くんのお気に入りスポット。図書館で本を読んだり、自然科学館で生き物にふれたりして楽しんでいます。



# いなべ子育てマしよに



「子育て中だけどこれから働きたい」「今働いているけど子供が欲しい」と考えている女性にとっての不安はやはり、待機児童問題です。日本各地で問題視され、国も解決に向けて保育所整備などの対策を図っている状況です。

いなべ市は、「次世代育成支援地域行動計画」を策定し、子育て支援をいなべ市の最重要課題と位置づけ取り組みを行ってきました。

そして、平成24年8月「子ども・子育て関連3法」の成立により、地域での子どもや子育て家庭を包括的に支援する、新しい支え合いの仕組みとして、いなべ市は次世代育成支援地域行動計画を踏襲する「子ども・子育て支援事業計画」を平成27年3月に策定しました。

いなべ市に住んでよかったと思えるような、子どもを安心して生み育てられる、人と人との支えあい・助け合いの精神が大切にされる、心豊かなまちづくりを目指して様々な子育て支援サービスの充実を図っています。



**子育て中の親は孤独で不安。子どもにしばられ自分の時間がない。そんな時たよりになるのが、地域の子育て仲間たち。**

専業主婦は24時間休みなしの子育てに一人で向き合い、ストレスや孤独を感じています。子育てで心配な事があっても相談する人もなく精神的にも追い詰められ、イライラを子どもにぶつけてしまうこともあるようです。

市では、子育て支援センターを同じ地区や同年齢の親子と交流できる場を積極的に紹介しています。仲間作りのきっかけとなるよう声をかけることで、ひとりぼっちのお母さんをなくすようにしています。これにより「子育て支援センターで友達ができた」という声も多く聞かれます。地域で支え合いながら、お母さんもお父さんも安心して子育てできるまちづくりを推進しています。



## いなべ市の子育て支援



### ● 妊娠から出産まで

- ・ 母子健康手帳の交付（健康推進課）
- ・ 子育てガイドブックの配布（児童福祉課）

各種施設の紹介や子育てに関する事業の情報を掲載しています。母子健康手帳の交付時にお渡しして、出産や子育ての参考にしてもらっています。

- ・ 妊婦教室「ぷれmamaセミナー」（健康推進課）

これからママになるうとしている方と共に喜びわかちあい、妊娠・出産・育児の悩みや不安などについて、相談できる仲間づくりの場として開催しています。

### ● 出産から1歳まで

- ・ ご出産おめでとうコール（健康推進課）

出産後、赤ちゃんとの生活が始まる時期に保護者が安心して子育てしていけるよう保健師が電話連絡し、不安や心配事をお聞きします。

- ・ こんにちは赤ちゃん訪問（健康推進課）

保健師が各家庭を訪問して母子健康手帳の確認や赤ちゃんの身体計測、「ママへの質問票」を使って子育ての悩みや心身の状態をお伺いしご家庭にあった子育ての方法を一緒に考えてサポートします。

NHK「おはよう日本」や日本公衆衛生学会で紹介されました。



- ・ ブックスタート（子育て支援センター）

市内の全ての6か月児と保護者を対象に案内文を送付して支援センターに来ていただきます。地域の主任児童委員、民生委員、子育て応援団の協力を得て、各家庭ごとに絵本の読み聞かせをしています。赤ちゃんにおすすめの絵本が入ったブックスタートセットをプレゼントしています。



- ・ 離乳食教室（健康推進課）

離乳食がスムーズに進められるよう、生後4か月から6か月児の保護者を対象に離乳食初期、生後7か月から11か月児の保護者を対象に離乳食中期・後期の教室を実施しています。お話とそれぞれの月齢に合わせた調理実習、試食を行います。



### こんにちは赤ちゃん訪問を受けた中野さん

3人目の子どもが生まれたばかりで、毎日忙しいです。上の子のときも保健師さんをはじめ育児相談などでお世話になりました。各機関の連携も取れているので、安心して相談できます。

## ● 1歳から5歳まで

### ・ 1歳おめでとう訪問（子育て支援センター）

満1歳の誕生月に自宅へ訪問し、バースデーカードにお子さんの足型をとってプレゼントしています。同時に子育てに関する相談や情報提供を行って子育てのサポートをしています。



### ・ 1歳6か月児健康診査（健康推進課）

1歳6か月児から7か月児を対象に生活習慣の自立、むし歯予防、幼児の栄養や育児に関する指導を行い、幼児の健康保持・増進を図ります。



### ・ ブック・Reスタート（子育て支援センター）

満2歳児を対象にブックスタートと同様の読み聞かせを行います。この「ブック・Reスタート」は全国的にも珍しい取り組みです。



### ・ 2歳児歯科教室（健康推進課）

満2歳児を対象に歯科医師などの専門家による講話や、ブラッシング指導の個別相談を行っています。



### ・ 2歳児子育てランド（保育課）

2歳児を対象に保育園を解放し、保育の雰囲気味わってもらいます。親同士の交流の場としても活用して頂けます。



### ・ 3歳6か月児健康診査（健康推進課）

視覚、聴覚、運動、発達、その他疾病の早期発見、むし歯の予防、発育、栄養、生活習慣、その他育児に関する指導を行っています。



### ・ 育児相談（健康推進課）

乳幼児の発達、発育、しつけなど育児全般について、保健師が相談をお受けします。また、栄養士による栄養相談も行っています。

### ・ 3～5歳児発達確認（保育課）

3～5歳児が在籍する市内の全保育園で同じ基準で子どもの発達状況を確認します。

## ● その他の子育て支援

### ・ 地域へ出向き、出前ひろば・出前テントひろばを開催



子育て支援センターまで遠い、交通手段がない、行く勇気がない、近所に同年齢の子がいるかわからない…など様々な理由で子育て支援センターを利用できない人がいます。

そういう方には、公共の施設や公園、自治会の集会所など様々な場所を利用して出前ひろば・出前テント広場を開催しています。子育て世帯を地域の人でバックアップする取り組みもしています。

### ・ 子育て応援団

地域ボランティアをはじめ、自治会長・主任児童委員・民生委員など地域の団体の方々の協力により結成しています。地域の人々の温かいまなざしと支えの中で声を掛け合い、知恵と豊かな経験で地域のみんなで子どもを見守り安心して子育てに取り組めるよう応援しています。



### いなべ市の子育て支援のお問い合わせは

いなべ市役所 .....

健康推進課 TEL 0594-78-3517

保育課 TEL 0594-78-3513

児童福祉課 TEL 0594-78-3519



いなべ市子育て支援センター .....

すこやかランド いなべ市北勢町其原818 山郷保育園内 TEL 0594-72-8488

なかよしひろば いなべ市員弁町石仏1868-1 員弁西保育園内 TEL 0594-74-5829

つくしんぼ いなべ市藤原町川合770 ふじわら保育園内 TEL 0594-46-8733

遊・友・YOUチャイルド いなべ市大安町門前531-1 笠間保育園隣 TEL 0594-77-2657

はっぴい・はあと いなべ市大安町石樽南335 石樽保育園隣 TEL 0594-78-0246

## 小学校～高校での取り組み

### ●小学校

#### ・石榑小学校コミュニティスクール

石榑小学校では、児童や学校を取巻く日常の問題を“地域の課題”として捉え、共に解決するために200人ほどの地域住民がサポーターとなって学校運営や学校支援を通して学校と地域との交流事業に関わっています。学校を地域コミュニティの拠点として位置づけ、地域住民が主体となって日常的に交流が行なわれています。この活動は、子どもや学校の課題にとどまらず、地域課題を解決するための協働の場として学校づくり・人づくり・地域づくりに取り組んでいます。



#### ・水辺の安全教室

水の事故をゼロにするため、各学校で「水辺の安全教室」を開催しています。“水に近づかない”ことを教えるのではなく水について正しい知識を得て、水辺での活動が安全なものとなるよう着衣水泳、ペットボトル浮遊体験やライフジャケット浮遊体験などを学習します。



#### ・屋根のない学校

山の中の自然あふれる静かな施設です。バツタの原っぱ、トンボの池などがあり、自然観察のできる施設です。

土曜日、日曜日に親子で参加できるおもしろ講座を開催しています。



### ●中学校

#### ・員弁中学校環境教育推進

いなべ市では「緑のカーテン」が広く実践される以前より環境・温暖化教育の一環として学校の中庭の教室前に「緑のカーテン」を設置して教室温度を3.5度低下させることに成功しました。できることから始める環境教育の取り組みは環境関連団体からも高く評価され多くの表彰を受けています。



## ●高校

### ・自分で創る時間割 総合学科校

いなべ市には、県立のいなべ総合学園高等学校があります。

13万㎡という全国屈指の広さの校地に、充実した施設・設備を持つ新しい学校です。21世紀をリードする人材の育成を目指し、生徒が自分の興味・関心や進路希望にあわせて科目選択ができるよう170を超える講座が用意されています。

1年次では、生き方や職業についての考えを深めるための「産業社会と人間」という基本科目を学び、その上で、チューター（担任）から、きめ細かなアドバイスを受けながら進路選択を

します。2年次以降は、自分の進路実現のために必要な科目を多くの選択科目の中から探し学習を進めていきます。「人文・社会」、「自然科学」、「国際理解」、「生活環境」、「情報ビジネス」、「デザイン」、「社会福祉」、「スポーツマネジメント」の8つの科目群にグループ化されており、関連した科目を連続して選択することで、効率的で中身の濃い学習ができます。



平成27年度の成績は、レスリング部が世界大会へ、野球部、陸上競技部、書道部が全国大会へ、女子バスケットボール部、ソフトボール部、ゴルフ部、卓球部、吹奏楽部が東海大会出場を果たしました。そのほか、地域ボランティア活動の参加、地域イベントの発表、

ジュニア選手の育成など、学校枠を超えた活動も盛んにおこなっています。



野球部は平成28年に春と夏の甲子園に出場し、今後の活躍が期待されています。



# いなべに移住するには

移住はしたいけれど、何からすればいいの?どこに相談すればいいの?とお悩みの方に、移住までの流れをご紹介します。



## 1 まずは、いなべを知ろう

### ▶ いなべ市の窓口にお問い合わせる

いなべ市役所 都市整備課 三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地  
電話0594-74-5814 ファックス0594-74-5800 ※土日祝日は休み

ご相談は年間を通じて受け付けているため、知りたい事や分からない事は気軽に問い合わせてみましょう。

## 2 下見に行こう

収集した情報をもとに現地に行ってみましょう。いなべ市内でも地域によって雰囲気が異なります。移住後の生活を具体的にイメージして、どういった環境かあらかじめ確認しましょう。

## 3 家を探そう

### ▶ 空き家バンクを利用する

いなべ市では、市内の空き家物件の賃貸・販売情報を「空き家バンク」に登録し、豊富な物件から移住を考えている方にあった物件を探せるよう情報発信しています。「実際の空き家が見たい」「詳しい情報がほしい」など気軽に問い合わせてみましょう。

## 4 仕事を探そう

移住後に仕事をする場合には、ハローワークで仕事を探しましょう。どのような仕事があるのか、賃金の相場などを事前に確認しておきましょう。また、60歳以上の方であればシルバー人材センターの登録ができます。

ハローワーク桑名……………桑名市桑栄町1-2 サンファーレ北館1階 0594-22-5141  
いなべ市シルバー人材センター…いなべ市北勢町阿下喜2624-2 0594-82-1800

## 移住者の方への支援

### ●空き家リノベーション支援事業

#### ■補助内容

三重県外からいなべ市へ移住する方々（UIJターン、二地域居住等）が市内の空き家等を改修して住む場合にかかる工事費用等を補助します。

工 事	
工事費の1/3 最大100万円	

※1：外構工事費や簡単に取り外しのできる設備の設置費用は工事費から除きます。

※2：工事に着手する（工事契約を結ぶ）前に申請手続きを行う必要があります。

※3：対象となる空き家等は耐震性を確保することが要件となります。なお、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の場合、条件によって耐震改修工事の補助も活用することができます。

#### ■補助対象者

- |             |  |
|-------------|--|
| いなべ市に移住する方  | いなべ市に移住を検討している方、移住してから6カ月以内の方、週末などにいなべ市内で過ごすために空き家を利用する方 等 |
| 空き家を所有している方 | いなべ市に移住する方に、所有する空き家を売買又は賃貸することを目的に、空き家を改修する方。              |

### ●いなべ市木造住宅耐震支援制度

耐震診断を無料で受けていただけます。また、補強設計費用や補強工事・リフォーム工事費用に対して補助金もあります。

#### 無料耐震診断

昭和56年5月以前の木造住宅を対象に無料で耐震診断を実施します。

#### 木造住宅耐震補強設計補助

一定の要件を満たす補強設計に対して、最高16万円を補助します。

#### 木造住宅耐震補強工事補助

一定の要件を満たす補強工事に対して最高101.1万円を補助します。



#### 追加補助 リフォーム工事補助

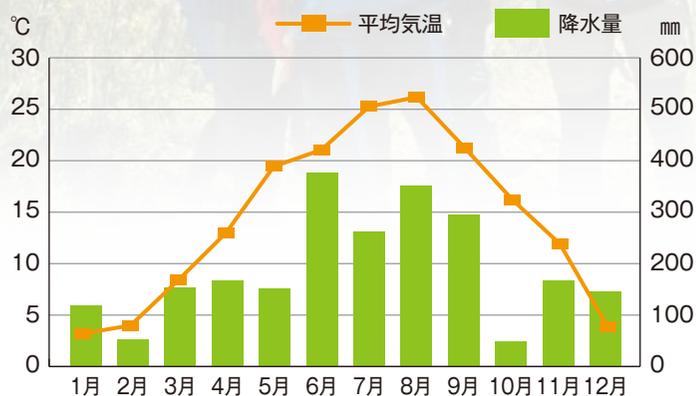
木造住宅耐震補強工事と同時に行う場合、リフォーム工事費に対して最高20万円まで補助します。

# ◎いなべ市の主なデータ

## ■ 気 象



月平均気温・降水量（平成27年）

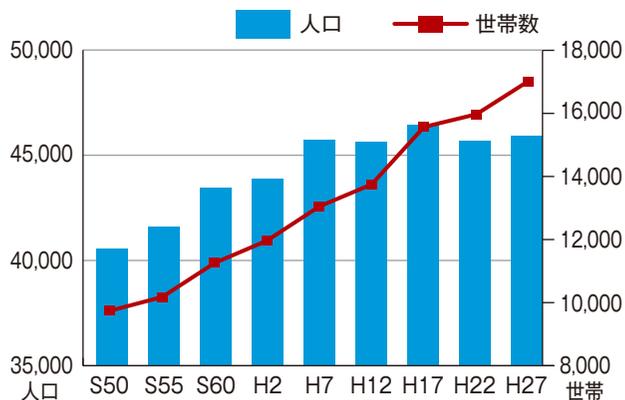


資料：桑名市消防本部 員弁北分署

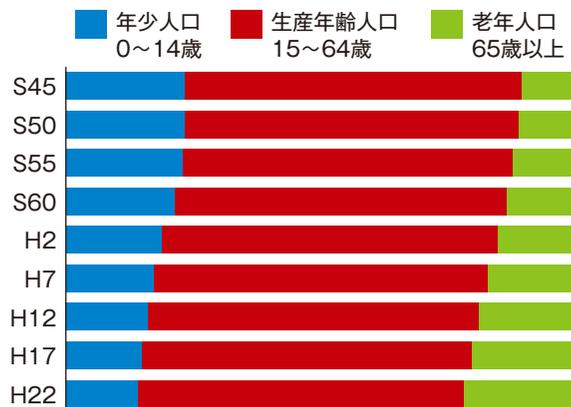
気候は太平洋側気候で一年をとおして、温和であるが、夏は南東からの季節風の影響で、雨が多く蒸し暑い日がある。冬は日本海側から山越しに流れてくる冷たい風の影響で降雪がある。

## ■ 人 口

人口・世帯の推移



年齢3区分人口割合の推移



資料：国勢調査

## ■ 教育・文化

小学校（単位：校、学級、人）

	学校数	学級数	児童数			教員数
			計	男	女	
H26	15	134	2,469	1,272	1,197	226
H27	15	134	2,441	1,257	1,184	242
H28	15	137	2,440	1,257	1,183	239

※遠方の場合はスクールバス完備

資料：学校基本調査

中学校（単位：校、学級、人）

	学校数	学級数	児童数			教員数
			計	男	女	
H26	4	49	1,352	672	680	103
H27	4	48	1,305	653	652	105
H28	4	49	1,265	638	627	111

資料：学校基本調査

文化・スポーツ施設

施設名	施設数	主な施設
公民館、文化施設	4	大安公民館、北勢市民会館 他
図書館	4	北勢図書館、大安図書館 他
文化資料保存施設	3	桐林館、郷土資料館 他
体育館	4	員弁運動公園体育館 他
野球場、運動場	12	北勢其原グラウンド、員弁運動公園野球場 他
プール、艇庫	2	員弁運動公園プール、大安海洋センター艇庫
武道場	4	員弁運動公園柔剣道場 他
テニスコート	2	員弁運動公園テニスコート 他

資料：教育委員会生涯学習課



石樽小学校



大安中学校



いなべ公園



北勢市民会館

その他の生活に関わるデータ .....

電 車	三岐鉄道北勢線、三岐鉄道三岐線
医療機関	22箇所

バ ス	路線バス、市内巡回バス（無料）
-----	-----------------

緑の山々、広がる田園

四季を感じる癒しのまち

いなべでゆったり

田舎生活を送ってみませんか





